

※※※※※ 発行人 ※※※※※

特定非営利活動法人

介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
代表理事 熊谷 道夫



浴で遊んだ深沼海岸を見て、何とも言えない郷愁が襲ってきました。
今後、風化させない活動に、時間の許す限り参加したいと思います。
さて、高齢者の閉じこもりが問題になっていますが、三十歳、四十歳代の『ごきこもり』も、社会問題になっています。
『ごきこもり』とは、
内閣府の全国調査によると、半年以上にわたり、自宅や部屋から出なかつたり、趣味の用事や近所のコンビニに出かけるほかは、外出しなかつたりする人」と定義されています。
そして内閣府は、全国の十五歳～三十九歳の調査で、約五十四万人に昇るとの推計結果を公表しました。
引きこもり期間は、七年以上が約三十五%と最多でした。



二千十八年謹賀新年

代表理事 熊谷道夫

環境の整備を強く望みたい。
最後に「情報の公表」訪問調査、「地域密着型外部評価」、「福祉サービス第三者評価」等の調査評価活動から、「介護サービスの質の向上」に向け、評価調査機関としてより一層の信頼を得るよう研修の充実と人材育成に取り組んでいきたいと思えます。
更に、「地域包括ケアシステム」の推進に向け友誼団体と連携し、今年も継続して活動して参りたいと思えます。
私たちが社会的に有意義な活動をしている自覚を持って、健康に留意し、引き続き、『頑張らないけど、諦めない』を合言葉に、今年も会員並びに関係者各位と共に歩んで参ります。

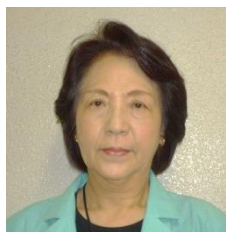
明けましておめでとう、ございます。
昨年は会員各位、支援者の皆さまの協力により、順調に事業展開ができましたことに心から感謝申し上げます。
昨年は、当会が設立されて二十周年の記念の年でした。会員の交流を主目的にした、ささやかな講演会、交流会を開催できました事など設立以来、尽力された多くの先輩の皆さまに、御礼を申し上げますと共に、今後も、ご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。
更に、半年半前の「東日本大震災」で犠牲になられた会員の皆さま、そして被災された皆さまにも、改めてお悔み、お見舞いを申し上げます。
昨春秋、震災遺構「仙台市立荒浜小学校」に行きました。屋上から荒浜地区全体を見渡しながら、子供の頃海水

この調査は、長期化、高齢化が深刻になっている実態を明らかにしています。
高齢者調査や長寿祝い金などで、個人宅を訪問する機会が、多いのですが、「在宅勤務」などと称して、若い人の在宅が増えている印象を受けます。
「就労支援44歳まで拡充」、「ひきこもり・ニート高年齢化」など、新聞の見出しが躍っています。
総務省の労働力調査によると、十五歳～四十四歳の『無業者』（仕事をせず家事や通学もしていない人）は、二十十六年時点で百万人、五歳ごとの内訳では四十歳～四十四歳が約二十三万人で最も多い。
「働き方」を巡って、様々な議論が行われていますが、社会的基盤を確立して、安心して暮らせる労働

新調査員を迎えて

活動体験のなかから①会員になったきっかけ、②調査に同行して感じた事、③主任調査員・調査員を経験して、④介護・福祉について思う事、⑤趣味・特技 についてコメントを寄せていただきました。

活動の更なる充実を……



習うより慣れろ

赤間 直美

①「日本語ボランティア」の仲間の高野さんと島田さんの紹介を受けて。

②受講中ずうっと「私に出来るのだろうか?」と考えていました。覚悟を決め、当日、先輩調査員の、相手先との対応の仕方(言動・行動など)を目にして「習うより慣れろ」という事と理解しました。

③「介護サービス情報の公表」の調査員としての仕事はまだ2度ですが、調査員としてこの制度の中身を知ると共に事業者としても調査を受ける事で中身の点検、質の向上につながって行く事、そして制度を利用しようとする人、している人にとって大変意義ある事だと思えます。これからの人生にとって「生き方」についても大いに学ぶことの多い仕事だと思えます。

④介護保険対象年齢になりましたが、中々その中味の理解が出来ておりませんでした。今回調査員研修の中で、その経緯・実情等を知ることが出来ました。私をも含め、どれだけの人々が身近に迫り来る介護の事それに伴う福祉のことを理解しているのだろうか?これらの事を多くの人々が理解し、利用できる為のツールが「介護サービスの情報の公表」の制度だと思えました。

⑤七宝焼き・布ぞうり作り・パステルアート・遊墨アート・マジック等 リンパマッサージ



元気づける声かけ

米倉 多美枝

①点訳ボランティアの先輩、菅原道憲さんからの声かけからでした。何か社

会参加できる事あるかと考えている所でした。

②それぞれの分野で頑張っている人は一杯居るんだなああと改めて感じました。

③諸先輩と同行し、同じ質問でも一人一人、入り方進め方とても勉強になりました。ホームの方を元気づける声かけができたと思います。

④テルウェルでヘルパーもやっていますが、介護を受ける側にもっともっと自分のしたい事、してほしい事声に出していいんだよと言いたい。申し訳なさそうにありがとうの声ばかりで本当の気持ちはどうなんだろうと。

⑤着物リメイク・小物作り・点訳ボランティア・古布人形作り



メモ書きの一工夫

工藤 俊廣

①私が入会することになったのは、昨年3月までシルバーセンターの派遣社

員として、4年間勤務していた生活介護施設で先輩の川村さんから誘われたことがきっかけであります。

②グループホーム及びデイサービスに初めて入った時の印象は、入居者や利用者の方々が思っていた以上に明るく、穏やかに過ごしているように感じました。

また、働いている職員が一人ひとりの思いを汲み取り、その要望に応えようとしている姿を垣間見て素直に感動を覚えました。

③初めて調査員として参加した際、メモし易いように事前に準備をしていたつもりでしたが主任と管理者の質疑・応答をメモすることに大変苦労しました。

そのメモを後で読み直したら何を書いたのか判別できない所もあり、今後もう一工夫する必要があると考えています。

④職員の処遇改善は少しずつは進んでいるようですが、現場で一生懸命働いている職員の姿を見ていると、もっともっと待遇を良くしてあげたいと思います。

福祉政策(介護保険含む)は少子高齢化の影響で、毎年のように改正され、事業者にとっては年々、職員の確保も含め経営の困難さが増しているよう感じます。

⑤趣味は園芸(1年中庭に花を欠かさないことが目標)、特技はどこでも眠れることです。



時代に合ったサービスや考え方

横田 幸雄

①調査員の田中由里子さんからお誘いを受け決意しました。

②まだ数回ですので今は緊張の連続です。

③調査をするにあたりスムーズに進めるには、きちんと準備をしていかないと迷惑おかけすると感じました。

④高齢化社会に進む中、介護・福祉はとても重要で、時代にあったサービスや考え方が必要だと思います。

⑤散歩(街・森林)、音楽鑑賞



一人ひとりの思いを大事に

佐藤 博子

①長年介護関係の仕事に携わってきた、母の介護のために仕事をやめました。

た。何か介護関係で介護をしながら出来る出来ないかと思い、一万人市民委員会の会員になりました。

②調査に同行して感じたことは記録の大事さと、それに伴う書類の多さにはびっくりしました。

③調査員になり施設を訪問して感じたことは、どこの施設も皆、入居者のことを思い、一生懸命になっていることがひしひし伝わってきました。また、その施設により色々な特徴があることを知り勉強になりました。

④介護について思うことは、一言、大変な仕事だと思います。一人一人の思いを大事にしていく事は、わがままになってしまう事もあり、その事についていくには、本当に大変な事だと思います。

⑤旅行(日々のストレス発散のため)



事業所の理解と協力を基に

武藤 次男

①昨年の秋、ある視察研修後の宿舎で同室となった伊藤さんから、一万人市民

委員会で活動している内容を聞き、なんとなく調査事務に興味がわきその夜に紹介をお願い致しました。今年29年度調査委員養成研修を受講することができました。

②2ヶ所の事業所に同行しました。はじめての事業所では調査項目について双方のやりとりがよく理解できない事があり、もう一度研修資料を読み返そうと思った。次の事業所は文書及び書類の管理がきちりしており調査項目の必要資料提出に滞りがなく、相手方の協力があることを感じた。

③主任調査員伊藤さんと2ヶ所の事業所に調査訪問をしました。どちらも調査資料どおりの確認が出来ました。調査を終えて思うことは、調査は事業所の理解と協力を得て行いますが、主任調査員による調査前の関連書類等の事前準備をお願いし、当日の調査の進め方など重要な役割があることを認識させられた。

④これも福祉活動？町内に「手作り友の会」という会がある。3年前活動を支える人から誘われ手伝うことに。みんな高齢となり開催日当日の準備ができないこと。私の担当は開催日に集会所の鍵を町内役員宅に取に行き、集会所を7時30分に開け、会場の設営(テーブル・イスを並べる)と、12時00分に帰るのを見届け鍵を閉め返すこと。

⑤63才から山登りに再チャレンジしてます。きっかけは友人から誘われ、岩手県にある標高1917m早池峰山(日本百名山)に挑戦して所要時間3時間5分山頂に立つことができた。山登りの理由は人それぞれですが、一人登山は無理と考え登山愛好会に入会、同世代の会員もあり、春から秋の季節月1回は登山を楽しんでいる。



穏やかな会話の大切さ

本城 とみ子

①人の紹介で初めて一万人市民委員会の存在と活動を知り自分に出来る

かどうかは別として、昔少しかだけ介護の世界に携わり挫折した経緯もあり関心のある活動でしたので参加させて頂きました。

②2事業所の調査に同行させて頂きましたが「有、無」の調査の前に、まず管理者又は対応して下さる方々との穏やかな会話の大切さを第一に感じ、調査に入ってから事実の「有、無」を協議したり、事業所からの疑問や意見があつたりで、スムーズにことが進まない時の対応の仕方を学ばさせて頂きました。

③調査員として2回しか活動しておりませんが、2回とも事業所の都合で1時間遅れで始まるなどハプニング続きで、始める前のドキドキや不安が一気に吹き飛び主任調査員に導かれながら連携プレーで切り抜けられました。トラブルや判断に迷った時などに二人で調査に向う意味が分かった気が致します。

④介護される人、介護する人両者が幸せでなければ成り立たない世界だと思っております。

⑤野球観戦 温泉と蕎麦街道巡り カラオケ



真摯な姿勢で調査に臨む

我妻 清子

①高齢者と呼ばれる年代になり、介護・福祉をもっと身近に知っておくべき時が

来たと感じていた時に、認知症の方々が暮らすグループホーム情報を公表しているサイトがあり、その為に調査する活動があることを知った。福祉を体系的に学んだことがなく、現場に足を運び知識を取得する方法もあると考えた。

②福祉のプロの皆様へ逢いお話を伺い、真摯な姿勢で調査に臨まなければならないと感じた。

③介護職に従事している方々は、お世話をしている皆様から感動をもらったり、励まされることもあると、また、自分の特技を生かし皆様に癒しの時間を持ってもらうようにして居る等と話しており、支えるだけのお世話だけでなく、支えてももらっているんだと感じた。そして、利用者の皆様が快適に暮らせるように、気配り目配りがとても大切という姿勢に頭が下がる思いだ。

④地域コミュニティで介護予防活動を充実させていくことが大切と思う。

そして、自分自身で要介護年齢を引き上げるべきと思う。また、要支援となった方が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、顔見知りの住民が生活支援ボランティアとして活動できるような取り組みが浸透されるべきと思う。

⑤そば打ち

〜〜 ご存知ですか？ 〜〜
あなたの地域の福祉活動

生活支援・介護予防サービスの
更なる充実に向けて

すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、高齢者自身が生活支援の担い手として社会的役割を持つことにより、生きがいや介護予防にもつながるよう高齢者の社会参加を促し、生

活支援・介護予防サービスの更なる充実に向けて、地域の中に生きがい・役割をもって生活できるような居場所と出番づくり、支え合い助け合い等各種各様の支援活動や地域づくりに取り組んでる団体を紹介しします。

認定NPO法人【あかねグループ】〈若林区遠見塚〉

仙台市若林区にあるあかねグループは、1982年10人の有志により任意のボランティアとして誕生し、幾多の変遷を経て活動を進め、2017年2月で創立35周年となりました。

出会い・ふれ合い・学び合い・そして支え合い、誰もがいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らしていける街づくりをめざし、支え合いの活動をしています。

あかねグループの事業と活動

- 配食サービス事業
主に 65 才以上の高齢者を対象に、栄養バランスの良い手づくりの配食サービスを毎日行っています。
- 居宅介護支援・訪問介護サービス/介護予防・日常生活支援総合事業
高齢者を社会全体で支え合う「介護保険制度」に基づき、在宅で安心して暮らしていけるよう支援しています。
- ファミリーサポート
介護保険の適用されない方へのヘルパー派遣、乳幼児の託児サービス、庭の手入れ等様々なサポートを行っています。
- 「あかねサロン」
地域の交流・情報発信の場として、事務所1階に軽食・喫茶ルーム「あかね食堂」を開いています。
- 「ふれあいサロン」
近隣の住宅でふれあいサロンを週3回行っています。また、イベントの開催、参加により、地域交流を図っています。



「あかね祭り」(バザー)「ふれあい会食」等の開催
今年は「あかね祭り」(バザー)に150名を超えるお客様にご来場いただき大盛況でした。また、区民まつりや外部イベントに参加しています。

●ボランティア体験・視察の受け入れ
学生、社会人、シルバー人材センターや行政職員など多彩な皆さんの一日体験や見学・視察に対応しています。

●食育活動
親子料理教室、子ども料理教室、ヘルパーのための料理教室、介護予防栄養教室、初心者のための料理教室など料理や栄養の指導、食を通じた情報発信と伝統の継承、様々な提案をしています。

【小地域づくり】〈泉区将監二丁目町内会〉

仙台市泉区(旧泉市)に在る将監団地は、1970年代に開発され一丁目から十三丁目まであります。団地内には小学校3校、中学校2校、近隣に高校もあるマンモス団地です。

将監二丁目町内会は現在約385世帯で25班あり、当初は子供たちも大勢いて毎日賑やかで活気がありました。見ず知らずの住人のお互いの親交を図るために、月1度の町内清掃活動や夏祭りカラオケ大会、桜まつり等を開催しましたが、40年以上経過し今は高齢化率も高くなり中止になった行事もあります。

いつからかは明確ではありませんが、親睦を目的とした班ごとの

の会議が年1度あります。町内会から助成金が出るので、お弁当付きの茶話会や外食に出かける班もあります。

但し、任意なのでやらない班もあります。昨年7班では前年度の班長がお世話役を担い、集会所でお弁当やお菓子を食べながらおしゃべりを楽しんで親睦を深めています。

また、秋には将監二丁目町内会・各種愛好会合同での芋煮会が青空の下で開催され、老若男女が集い交流を図っています。

平成27年度現在の泉区の高齢化率は23.32%ですが、将監二丁目の高齢化率は男性41.1%、女性38.5%です。

認定NPO法人【グループ ゆう】〈泉区南中山〉

高齢社会が目の前の平成7年に、地域で食に係る活動をしていた女性たちが、配食サービスを始めた。その後、「高齢になっても障がいがあっても、安心して暮らし続けることの出来る社会を市民参加でつくる」を目標に、NPO法人を取得し、

「こんなサービスがあったらいいね」の住民の声を聞き、現在は、乳幼児期から高齢期の方への支援事業を展開しています。

【仙台市サンホーム】

〜〜 乳幼児期対象支援事業 〜〜

平成23年から仙台市から指定管理事業として受託し、発達に何らかの心配のある幼児に遊びを通じた療育と保護者への子育てのサポートをしている。平成29年から児童発達支援センターとして地域の子育ての相談窓口になっています。

【ほっとスペース歩°歩°】

【キッチン歩°歩°】

【ワークスペース歩°歩°】

〜〜 成人期対象支援事業 〜〜

発達障がいのある方や自閉症スペクトラムの方など共に自立に向けての就労支援を一貫して行っています。(就労前支援→就労支援→就労後支援)

【ピーターパン】

〜〜 学齢期対象支援事業 〜〜

障がいのある小中高生に放課後や長期休暇中に居場所を保障し、集団遊びや個別活動を通して、生活能力の向上、自立を促進する事業を行っています。

【高齢者】

〜〜 高齢期対象支援事業 〜〜

配食サービス、サロン活動、助け合い活動(自主事業)、訪問介護(高齢者)、居宅介護支援事業(障がい児者)、地域ボランティア活動等行っています。



『キッチン歩°歩°』を交流の場としたサロン&カフェ

地域の社会資源として地域包括・地区社協・民生委員・町内会等と連携して、より多くの方に活動支援やカフェでの楽しさを伝えて、交流の輪を広めている。地域の障がい理解をすすめたいと開いたキッチン歩°歩°は、現在、高齢者が集うサロンにもなり、健康麻雀、絵手紙、折り紙、そば打ち同好会の

“そばの日”等が開かれている。毎月第3金曜日には、地域包括支援センターと共催して介護予防を目的のカフェが開かれています。(カフェでは、飲み物とお菓子ができます)誰もが気軽に立ち寄って、日替わりランチ、コーヒー、お弁当、お惣菜やたい焼き等を買求めることができます。

【ほっとカフェ】

地域の高齢者等が集う、ミニ講話に介護情報や人と関わるゲーム、歌、お喋りありの和気藹々のカフェです。

【結カフェ】

介護をされている方、終えられた方の家族会が悩みや不安を共有し、情報交換の場として交流しています。

一方、将監九丁目は男性11.0%、女性14.5%となっており地域によって差があります。

今春、将監二丁目集会所新築着工が具体化したので、高齢化率にめげずに地域の人たちが集える拠点として活用できることを楽しみにしています。



*** 理事会模様 ***

◆平成29年度 第4回理事会

★平成29年11月21日(火)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第4回理事会が開催されました
主な活動報告、審議事項は次のとおり

- ア)「住まい」フォーラムの成果と反省について
 - イ)調査、調査活動について
 - ウ)諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
 - エ)広報、財政、組織、総務関係について
 - オ)地域包括ケア体制の推進について
 - カ)常任三役会議の報告について
 - キ)その他
- (※詳細については事務局備付けの議事録を閲覧願います)

「地域包括ケア推進検討委員会」だより

◆平成29年度第5回委員会模様

★平成29年11月10日(金)仙台市生涯学習センター会議室において、熊谷、仲野、本間、團、前田、栗原、荒井の各推進委員会メンバー出席のもと第5回委員会を開催しました。

- 1)10月8日(日)に開催された「サービス付き高齢者住宅」フォーラムの報告と感想・反省
- 2)「地域包括ケアシステム」の今後の取組について、
 - ①独自活動として何ができるのか
 - ②他団体との連携した活動のあり方
 - ③他団体の取組状況の把握
 - ④高齢者だから、できることは何か
 - ⑤地域でできることは何か
 - ⑥対応する人員が現時点不足している
 - ⑦鶴ヶ谷地区に、30年4月オープンする「ハートケア鶴ヶ谷」への支援の検討

など他団体との更なる連携に取組み並びに活動の展開方法について検討を進めていくことなど意見交換を行った。

フォーラム開催模様

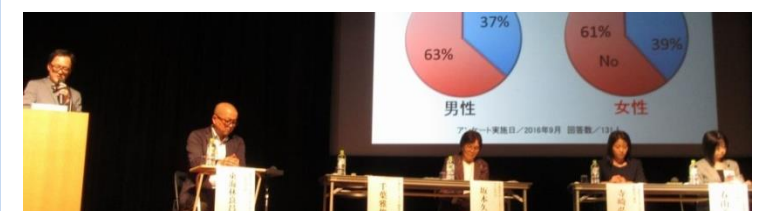
10月8日、全国介護者支援団体連合会主催・当会協力による、地域包括ケアシステムにおける高齢者住まいの「サービス付き高齢向け住宅」って何？というフォーラムが開催されました。

第1部の基調講演では厚生労働省老健局高齢者支援課課長補佐上野翔平氏が「地域包括ケアの推進と高齢者住宅」をテーマに「①高齢者の人口増加率は地域によって違い、取り組み方も変わってくる。②介護予防に重点的に取り組んだ結果、介護認定率が下がった自治体もある。③有料老人ホームとサービス付き高齢者向け住宅の合計が60万床を越え、特別養護老人ホームの数よりも多くなっている。④高齢者の住まいに関する情報が満載のホームページ『介護サービス情報公表システム』の活用について」など講演されました。

第2部パネルディスカッションでは、コメンテーターとして、厚労省の上野氏、全国介護者支援団体連合会の牧野氏が加わり、介護者サポートネットワーク・ケアむすびの坂本氏、宮城県ケアマネジャー協会研修担当委員の寺崎氏、仙台市社会福祉協議会泉区事務所の春氏、シルバーネットの千葉編集長がコーディネーターの東海林氏(ケアむすび代表)の司会により、それぞれの取り組み、事例報告、意見等を述べ合いました。

★当日のアンケート集計報告

- 第1部・大変参考になった : 24%
- ・参考になった : 69%
- 第2部・大変参考になった : 28%
- ・参考になった : 60%



フォローアップ研修会模様

平成29年12月19日(火)仙台市生涯学習支援センター(旧中央市民センター)第2セミナー室において第2回地域密着型サービス外部評価フォローアップ研修会が開催されました。

- ①県のガイドライン、サービス実施要綱並びに家族アンケートの集計結果について解説、報告、
 - ②新人主任調査について
 - ③報告書作成に関するグループワーク
- についての研修が行われました。



◆成年後見センター◆のご案内

「一万人市民委員会宮城成年後見センターみやぎ」を立ち上げました。

- ・最近物忘れが多く通帳やお金の管理ができなくなってきた
- ・一人暮らしで日常生活や身の管理など不安
- ・介護サービスを受けたり病院を受診するのに必要な契約や手続きが一人ではできず不安
- ・離れて暮らしている親の判断能力が低下してきている

このようなことで、成年後見制度をご利用されたい場合は当センターへお気軽に相談下さい。

【 受付時間 】

・月～金(祝日を除く) 9:00～17:00

【 受付電話 】

・電話:022-293-8158 ・FAX:022-293-8230

★みやぎ介護サービス便利帳★のご案内

宮城県内の特別養護老人ホーム(仙台市21ホーム、仙台近郊8ホーム、仙北地域25ホーム、仙南地域6ホーム)について、施設紹介写真、入居定員、利用経費概要、施設の特徴、サービス内容等々を当ホームページのみやぎ介護サービス便利帳

(<http://www.ichimannin.com>)で紹介しておりますが、この度「暁星園」(仙台市コーナー)「青風園」(仙北地域コーナー)の2ホーム追加掲載しましたのでご覧下さい。

平成29年度評価・調査活動状況

7月24日に開始した「地域密着型サービス外部評価活動」は第2四半期20事業所、10月は22事業所、11月は16事業所、12月は21事業所(予定を含む)合計79事業所の評価活動を終えています。

今年度の評価活動対象事業所は約123事業所ですので12月末の進捗率は64%となっています。

また、情報の公表調査活動は9月1日に開始し、9月は140事業所、10月は164事業所、11月は170事業所、12月は111事業所(予定を含む)合計585事業所の調査活動を終えています。

今年度の調査対象事業所は約811事業所と昨年度の約2倍の事業所となっていますので、12月末の進捗率は72%となっています。

◆よろず相談会◆のご案内

平成30年1月から平成30年4月までの開催日程は次のとおりです

☆開催日程(30年1月～30年4月)

- ❖1月24日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ❖2月23日(金) 相談役 武田貴志弁護士
- ❖3月22日(木) 相談役 安田廣治司法書士
- ❖4月18日(水) 相談役 武田貴志弁護士



日本100名山を目指して

たかき
会員 大沼孝魂

今年の夏は雨の日が多かった。登山の予定を立てて、1週間前から現地の天気予報をインターネットでチェックして、いざ現地に着くと、翌日から雨で足止めをくうことが何回もあった。

7月27日早朝、自宅を出て長野県小谷村雨飾山登山口に夕方到着し車中泊する。ほかに数台駐車していた。

今回は雨飾山と高妻山、妙高山、火打山を登る予定だ。明日の予報は午前中曇りで午後から雨、午前中に登山を終えたいと思いながら眠りについた。朝方4時前に起きたが、あいにく雨が降っている、食事をして7時ころまで様子を見ていたが上がる気配がない。待っていた人達もあきらめて帰り始めた。横浜から来ていた人達は梅池自然園を見て帰るといって去っていった。待っていてもしょうがなく、次の高妻山へ向かい、途中戸隠神社奥社に参拝した。神社の裏手には戸隠山の岩峰がそびえている。

ビジターセンターで高妻山の情報を聞くと、昨日雨で川が増水し下山できなくなった数人がレスキューに救助されたと聞き、断念せざるを得なく、次の妙高山登山口燕温泉へ移動した。近くにある、露天風呂「黄金の湯」につかり暖まって眠った。

目が覚めると、雨がしとしと降っている、午後は少し上がる予報に期待をかけ、雨具を着て6時10分に出発した。途中、誰と

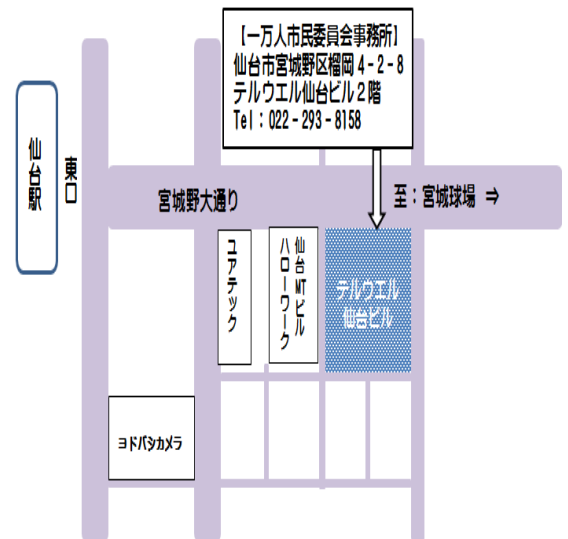
も会うことなく11時半ごろ山頂に着いた。辺りはガスにけむり視界はない、時折雲の切れ間に外輪山が鋭く切れ落ちているのが見えた。もう一人いたので、写真を撮ってもらい、お昼を食べて同じ道を下山した。全身汗まみれの体を黄金の湯で流し、次の火打山登山口「笹ヶ峰」へ移動した。

翌日は曇りであったが登山道は泥んこ道になっていて歩きにくかった。山頂手前の天狗の庭で、雪解跡に咲いている、はくさんコザクラのあまりの可愛さに、思わずウワーと声を上げてしまった。この日往復11時間の行程で体はクタクタに疲れていたが登り終えた安ど感と満たされた気持ちでいっぱいになった。8月12日に再度、雨飾山と高妻山にチャレンジし無事リベンジすることができた。今シーズンは天城山に始まり、最後に南アルプス光岳を登り、数えてみると14座達成していた。北アルプス鹿嶋槍ヶ岳から八峰キレットを経て五竜岳への縦走を成し得たのは生涯に残る思い出となった。

50歳から始めた登山であるが、きっかけは、当時兼業農家で米作りをしていたが親せきに任せることになり時間に余裕ができたことである。自分一人でもできるスポーツ、知らない山へ登ることに興味があり始めることになる。初めて登ったのが秋田の鳥海山、何もわからず地図も持たず、行った先で仙台から来ていた年配の男性(布施さん)に声をかけ同行してもらった、登りの6時間は長かった。帰りは一人で下り、途中何度か道迷いしそうになった。それ以来、知識と経験がなければ登れないことを知った。それから登山に関する本を読んだり、登山講習会に参加していろいろな人の話を聞いたりして、週末を中心に登り続けてきた。今年で登山歴20年になる、あと11座残すところとなった。

新年おめでとうございます。会員の皆さんの今年の目標はどんなものでしょうか。昨年一万人市民委員会では設立二十周年の記念行事を開催し、記念誌も発行しました。そして、新たに八名の新調査員の皆さんを迎えました。気持ちを新たに共に邁進していければと思います。さて、二十七年の出来事として、トランプ大統領就任(ミサイル問題 北)政治家の不祥事。大手企業の粉飾及び偽装改ざん等、色々な出来事がありました。そんな中、眞子さま(婚約等の明るいニュースはみんなが笑顔になれました。今年の干支である成年生まれの人は、義理人情に厚く、十二支の中で最も誠実さに溢れた人です)とか。今年には「誠実」「謙虚」が本当の意味で重んじられる社会になるよう願っています。 栗原

【編集後記】



特定非営利活動法人
介護の社会化を進める
市民委員会 一万人市民委員会宮城県民の会
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルワエル仙台ビル2階
Tel:022-293-8158 Fax:022-293-8230
ホームページ: <http://www.ichimannin.com>
Email: ichimannin@alpha.ocn.ne.jp

編集委員 荒井 勝子 大坪 俊男 兼平 幸雄
栗原 節子 團 順子 前田 泰子